

# COMPASS 発達支援センター丸亀

令和  
5 年度

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	8	国の定めた基準以上の広さを確保しております。利用人数を考慮し、部屋の使い分けを実施しております。		
	2	職員の配置数は適切である	8	国の定めた基準配置以上の有資格者の職員を配置しております。		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	5	事業所内の段差解消などのバリアフリー化は今後の検討課題です。事業所の老朽化にともなう玄関先階段の修繕は終了しました。	現在、車椅子を利用している児童の受け入れはありませんが、玄関先スロープの修繕を行い、今後対応できるようにしております。
業務改善	4	業務改善を進めるため PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	2	PDCA サイクルを意識し、支援に取り組んでおります。月 1 回の会議を実施し、目標設定と振り返りに全職員で参画できるように工夫しております。	全職員で業務改善の意識を持ち、事業所内、関連施設との連携頻度向上に繋がるよう努めてまいります。
	5	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	8	毎年のアンケートを実施し、保護者様の御意見を聴取させて頂いております。皆様のご意見を把握し、業務や支援の改善に繋げるよう努めてまいります。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や公式 Web サイト等で公開している	8	8	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	8	毎年、事業所内での研修を実施しております。また、外部での研修会にはオンラインで参加するなどの工夫を行い、情報収集・更新に努めております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	8	保護者様が来所時には、各職員が連携を実施し、学校や家庭での様子について情報交換を行うように努めております。また、情報共有ツールとして職員間での連絡帳を使用し、全職員で情報を把握できるようにしております。	
	10	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	標準化されたアセスメントツールを使用しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	8	6ヶ月毎のプランの見直しとともに日々のプログラムにおいても職員間で話し合い、立案、検討、振り返りを実施しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	8	季節の行事や畑のお世話、清掃作業などを取り入れ、個々の特性を考慮し活動プログラムを立案し、固定化しないよう努めております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	個々の課題に応じた支援のみでなく、集団活動やレクリエーション、作業練習などの多様な課題を設定し、平日・長期休暇ともに固定化しないよう努めております。	日頃より、支援内容に関する会議の場を設け、固定化した活動内容にならないよう努めてまいります。
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで放課後等デイサービス計画を作成している	8	8	児童の障害特性や年齢・性別に応じた、個別活動と集団活動を組み合わせた支援をさせて頂いております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	支援開始前には、来所される児童について話し合い、業務の流れや活動内容の確認・周知に努めております。	業務の時間を確保しながら、支援開始前に全職員に周知できる機会を設け、改善できるように努めてまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	6	支援終了後に送迎などで時間的制約がある場合には、翌日に情報共有の場を設け、情報共有ノートを活用するなどして連携に努めてまいります。	支援終了後に事業所に滞在している職員間では情報共有の時間を設け、それ以外の職員に関しては、情報共有ノートを活用するように努めてまいります。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	8	各記録に関して、職員間で確認し合い、次の療育内容に関する検証・改善に繋がるような内容記載に努めてまいります。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	8	児童発達支援管理責任者が定期的なモニタリングを実施し、児童の状況に応じた、計画の見直し・変更をおこなっております。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	8	8	ガイドラインの総則に沿って、利用児童一人一人に応じた基本活動を組み合わせた支援を実施しております。		
関係機関や保護者様との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	8	会議実施前に職員間で情報共有を行い、児童発達支援管理責任者が代表して参画しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	1	学校送迎時に学習状況や集団での様子、児童の体調などに関する連携を実施しております。	
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている	4	4	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっており、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	6	児童発達支援事業所との連携を実施し、情報交換・共有・理解に努めております。	児童発達支援事業所のみにとどまらず、必要に応じて保育所や幼稚園との連携に努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	8	情報提供を求められた際には、保護者様に必ず承諾を頂き、必要な情報提供に努めております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	8	オンライン研修に参加して、必要な情報交換や助言を受け、支援に反映させるよう努めております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある	3	5	地域の法人や公共施設の利用を行い、社会参加の機会提供に努めております。	学校や児童クラブとの交流機会を設け、インクルージョンの実現に向けた支援や計画立案に努めてまいります。
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	6	現段階では参加はできておりませんが、公式 Web サイトの資料を確認し、地域理解に努めております。	開催状況に応じて、積極的な参加を心がけてまいります。
	28	日頃から児童の状況を保護者様に伝え合い、児童の発達状況や課題について共通理解を持っている	8	8	利用時の様子について、連絡帳や送迎時・来所時に連携を実施し、共通理解に努めております。	
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	3	保護者様からの相談に応じて、職員間で話し合いを実施し、専門的な助言が行えるように努めております。	今後も保護者様のお悩みや相談に応じて専門的な助言が行えるように努めてまいります。また、研修などで知り得た知識を皆様に還元できるような機会を設けるように努めてまいります。
保護者様への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	8	利用契約時に契約書、重要事項説明書を基に説明させていただいております。また、事業所内にも掲示しております。	
	31	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	8	保護者様が来所された際と送迎時には、保護者様との情報共有を行い、悩み事を相談しやすい関係作りのために日頃からの連携を大切にしております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している	2	6	現時点では保護者会の開催は、実施できておりません。今後の検討課題であります。	保護者様のご都合に応じて、事業所やオンラインでの保護者会の開催を検討してまいりたいと思います。
	33	児童や保護者様からの苦情に備えて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	8	苦情があった際には、迅速な対応を心がけております。苦情内容に真摯に向き合い、職員間での情報共有を怠らずに改善・予防に努めてまいります。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	8	8	自社の公式 Web サイトや YouTube や Instagram などの SNS ツールを活用して、定期的な活動内容などの発信を行っております。	
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	8	8	個人情報に関しては、鍵付き書庫に保管の上、書庫施錠記録を管理者管理のもと取り扱っております。書類破棄時には、シュレッダー機を使用して裁断するなど慎重に取り扱いさせていただいております。	
	36	障がいのある児童や保護者様の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	8	障害特性に応じたコミュニケーションツールの使用に努め、また必要に応じて伝達方法の検討に努めてまいります。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	現段階では、感染症リスクなども考慮した上で、地域住民を招待することはできておりません。	今後は、地域住民との交流機会を設けて、インクルージョン社会の実現に向けて努めてまいります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	8	各マニュアルに関しては事業所内の入り口に掲示し、保護者様が確認できるようにさせて頂いております。職員には、マニュアルの保管場所を周知し、マニュアルを見直し・確認を実施しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	8	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	8	定期的な事業所内研修を計画し、実施しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	8	身体拘束が必要になった場合、保護者様に説明し、話し合い、承諾を得たうえで、個別支援計画に記載して承ります。	
	42	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	保護者様に対し、食物アレルギーのある児童について聴取しております。事業所内での食事提供の機会はありませんが、アレルギーに関して情報共有を行い、留意しております。	今後必要に応じて、食事提供がある際には、保護者様への確認、医師の指示書に基づく対応を行っていくよう努めてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	事業所内で事例集を共有し、再発防止につながるよう話し合いの機会を設けております。	ヒヤリハット事例集のファイルを作成し、閲覧できるように対応しております。全職員への周知を行ってまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。